

		全専攻		専攻選択科目		
環境教育実践概論		1年	前期	2単位	選択	講義
Designing of environmental education projects		担当者(部屋番号)				
		藤 公 晴 (751)				
【 授 業 目 標 】						
<p>本講座は、環境教育の企画運営者としての知見と技術を育むことを目的に「環境教育の取り組みを実現させるのは専門家だけでなく、環境教育事業の実務にたずさわる人たちの分析能力や知見、企画力、そしてグループワークの技量なども重要」という立脚点をもとに構成されたものです。環境教育にかかる様々な今日的取り組みを鳥瞰しつつ、それらの事業企画のノウハウについて学び、受講生の研究テーマおよび修了後の進路にかかる実践性の高い知識と技能の習得をめざすものです。</p>						
【 授 業 方 法 】						
<p>各講義の基本的方針として、インストラクターによる知識伝達型でなく、受講生による積極的な参画を重視する形式をとる。基本的構成は次の通り：①リーディング担当者の解説を中心としたディスカッション；②環境教育の事業化にかかる申請書類やチラシ、カリキュラムガイドの読解と分析；そして③青森県内の環境教育に関する仮想事業の企画、の三部構成。また学期中、県内外で活躍する環境教育実践者の方を招き（ないしは施設を訪問して）事業の企画や運営に関するレクチャーを受講する。また本講座の内容は、今年度環境教育実習Ⅰの選択C「コミュニケーション・企画」とも連動しているため、この分野に関心を持つものはセットで履修することを勧める。</p>						
【 授 業 計 画 】						
<ol style="list-style-type: none"> 1 概要説明。自己紹介。リーディングについて。出欠や課題、受講にかかるルール説明確認。簡単なグループディスカッション。 2 座学 日本型環境教育の知恵 66ページまで グループ課題について説明（課題解決型とは） 3 座学 同上 144ページまで 4 ゲスト講師（未定）およびディスカッション 5 座学 日本型環境教育の知恵 146-208ページまで 6 企画書と助成金申請書① 7 カリキュラムガイド分析 8 カリキュラムガイド分析 9 ゲスト講師（未定）およびディスカッション 10 企画書と助成金申請書 ② 11 グループ課題ドラフト提出・評価メモ①返却 12 ゲスト講師（未定） 13 調整週 14 グループ課題発表 15 評価メモ2提出 振り返り 						
教科書	『日本型環境教育の知恵：人・自然・社会をつなぎ直す』編著(社)日本環境教育フォーラム『気仙沼市環境教育・ESDカリキュラムガイド』発行 気仙沼市教育委員会		評価方法	1) 参加と受講態度 20% 2) 評価メモ作成 2回 40% 3) グループ課題（申請書および企画書の作成と発表）40%		
参考書	その他の教材資料は随時配布。		留意点	詳細は講義初日に説明。上述の授業計画については、受講生数により変更の可能性あり。		